

## 目標達成計画

作成日: 平成 26 年 3 月 29 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践 職員が入居者様へ自己決定ができるような声かけができていない事がある。	全職員が入居者様一人ひとりの思いを汲み取れるような声かけができるように支援する。	カンファレンスの中で話し合いを行う。毎朝の申し送り時に、使命を唱和し、意識付けをしていく。声かけの語尾に〇〇しましょうか。どうしましょうか。等意思決定ができるようにしていく。	12ヶ月
2	36	入居者様と共に生活する中で、お互いが段々と慣れてくると、言葉遣いが、気づかぬうちに馴れ合いになり言葉かけに注意が必要である。また職員同士の言葉にも気をつける。	全職員が丁寧な言葉や相手を思いやる気持ちで接する事が出来るようにする。職員の意識を高め、好感を持って頂ける職員となる。	目標が達成できるように、一ヶ月の介護目標の議題に上げ個々に意識し業務にあたる。達成はできたか?反省点は?など自己評価し記録に残す。またカンファレンスや日頃の話し合いの中で職員同士で注意を行う。	12ヶ月
3	35	火災の避難訓練は出来ているが、地震・水害時の訓練がいまいち理解が出来ていない。	地震や水害があれば、職員が慌てないように昼夜を問わず対応できるようにする。	火災時と同様に地震・水害時への対策を明確にしマニュアル化する。 消防署の方に来ていただき指導を受ける。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。